

玉川活性化 生徒も担う

今治東中教校 観光や農業 計画発表



玉川の活性化に向けた取り組みを発表する生徒

今治東中等教育学校の3年生が本年度、今治市玉川地域の活性化に向けた取り組みを総合的な学習の時間で進める。同市桜井2丁目

の同校でオープニングセレモニーがあり、高齢化や過疎化を踏まえ、市や地元の団体と連携しながら観光や農業などの魅力を発信する

と発表した。約110人の生徒は、観光▽農業▽福祉▽アート」の4班に分かれ、地域資源を活用した課題解決に取り組

む。セレモニーでは、各班の生徒が鈍川温泉の観光促進を目的とするサイクリングツアーのほか、鈍川米のブランドディングや社会福祉協議会と連携した地域食堂、玉川近代美術館（同市玉川町大野）での展示会といった計画を紹介した。

農業班の村上紫星さん(14)は「より発展していくまちになってもいい。楽しさだけでなく大変さも知ると

思うが、そうした経験を高校生活や将来に役立てられるよう頑張る」と話した。

セレモニーは4日あり、3年生のほか市や玉川地域の関係者らが出席。NPO法人玉川サイコーの渡部守理事長(69)は「若者の目線で大事にしたいことを提案してほしい」と呼びかけた。

(西尾寛昭)